



い き い き

小 富 士 っ 子



R4 学校便り No. 14

令和4. 9. 13

四国中央市立
小富士小学校

中秋の名月



今年は、9月10日が中秋の名月でした。中秋の名月とは、旧暦の8月15日の月のことです。今年はちょうど満月だったそうですが、見られなくて残念でした。実は、中秋の名月だからといって満月とは限らないそうです。「旧暦の8月15日の月だから満月だろう」という思い込みがあるかもしれません。

私たちが生活していく上で、「思い込み」は、ときとして、危険を伴います。差別や偏見を生むこともあります。事故につながることもあります。正しいことを知ること、正しい判断をすること。私自身も心掛けたいと思います。(写真は去年のものです)

デジタル・シティズンシップ研修から

夏休み中の8月上旬に市教委主催のICT研修会が4講座行われました。小富士小学校からも全教職員がどれか一つに参加するようにし、研修を深めました。その中で、私が参加したのは、「デジタル・シティズンシップ+」の研修会でした。国際大学客員教授の今度珠美先生による講演でした。

「デジタル・シティズンシップ」とは、「デジタル技術の利用を通じて、社会に積極的に関与し、参加する能力」のことです。これまでの、情報モラル教育のように「～しないようにしましょう。」ではなく、ICTの日常的な利用を前提に「活用すること」「自分で自分を律すること」「行動規範」を大切に教育を進めていきます。

今の子どもたちは、ICTを活用しないですむ時代ではなく、ICTを使うことが当たり前の時代に生きていきます。だからこそ、自分で考え、自分を律し、正しく使いこなしていくことが求められます。

研修会に参加した教職員の感想を掲載します。

デジタル・シティズンシップの授業は、家庭と学びを共有することが大切だと分かりました。子どもたちが、責任を持ってテクノロジーを使用して学習したり創造したりできるように、家庭と連携したり一緒に学んだりしていきたいと思います。

デジタル・シティズンシップとは、ネットという公共空間での公共マナーであり、子どもだけでなく、大人も共に、学んでいくことの必要性を学びました。ネットの良い面、悪い面を理解し、自ら見極める力が大切だと感じました。

子どもたち自身がインターネットを使う中心となって、どのようなルールやマナーが必要か、それを実現するためにどうするのかを考えることが大切だと学びました。大人から強制されて「させられる」のではなく、「自ら考え、行動する」ことが、これからの社会をより良くしていくのに必要な姿勢だと感じました。